

質問順位	3	質問者	高橋 江海子 議員		
件名	項目		要 旨		メモ
1. 安心して子どもを育み、学び、笑顔あふれるまち	1. 滝川市こども計画について		1. 滝川市こども計画では、子どもの権利を尊重し、普及啓発活動に取り組むと示されている。具体的にどのような施策を進めていくのか考えを伺う。		
			2. こども家庭センターの位置付けについて、こども家庭庁のホームページには「子ども家庭総合支援拠点」と「子育て世代包括支援センター」の見直しとあり、この2つが統合されている図式が示されている。本市では今あるものがどのような形態に変わるのかを伺う。また、こども家庭センターの設置について具体的な設置スケジュールを伺う。		
			3. 滝川ふれ愛の里で実施予定のレスパイトケア事業については、マタニティヨガや母親教室のような妊娠中の方も気軽に利用できる環境があれば利用者も増え、妊産婦の不安感や孤独感の払拭にも繋がると考える。当該事業の幅広い展開についてどのように考えるのかを伺う。また、市外在住者の利用は可能なのかを伺う。		
			4. 滝川市こども計画の策定にあたって子ども・子育て会議の中で指摘された、保育現場の人手不足問題について、今年度は具体的にどのような人材確保策や待遇改善策を講じる予定があるのかを伺う。また、保育士のワーク・ライフ・バランスやキャリアアップなどに対する支援策について、第2次男女共同参画計画との関連性を踏まえた包括的な取り組みについて伺う。		

質問順位	3	質問者	高橋 江海子 議員		
件名	項目	要 旨		メ モ	
		5. 様々な障がいのある子どもたちにきめ細やかな支援を行うためには、乳幼児期から保育支援等に対応できる専門的な、例えば言語聴覚士や作業療法士などの有資格者の人材確保や育成が必須と考える。この点について令和7年度の見通しを伺う。			
	2. 骨検診費用の助成について	1. 骨検診を若年層の女性が受診することで期待できる効果と、検診後に異常があった場合のフォローアップについての考えを伺う。			
	3. 誰もが安心して暮らせる環境について	1. 第2次男女共同参画計画における重点課題として女性と子どもの人権尊重と暴力根絶とあり、「誰もが安心して暮らせる環境」の実現に向けて、DV・ハラスメント及び虐待対策の強化は重要であると考え。学校、家庭、地域及び行政で連携した暴力行為等の早期発見と防止対策の強化についての考えを伺う。			
2. 健康で、優しく、安全に暮らせるまち	1. 保健・医療環境の充実について	1. 帯状疱疹ワクチン定期接種化事業について、市内の既存の任意接種者が追加接種する場合は、助成の対象になるのかを伺う。			

質問順位	3	質問者	高橋 江海子 議員	件名	項目	要旨	メモ
	2. 病院経営の改善について	1. 令和5年に策定された滝川市立病院経営強化プランで想定された内容と現在の状況は乖離してきているが、同プランを改訂する可能性と講じる具体的な改善策について伺う。				2. 患者数がコロナ禍前より戻って来ないのであれば、例えばワクチン接種会場だけでなく、認知症予防や介護予防講座、100歳体操やヨガなどの趣味を楽しめるコーナーなど、他の介護保険事業や民間と提携して何か病院機能以外の予防医療に目を向けた付加価値をつけることも検討するべきと考える。そういったこれまでになかった事業や民間活力を導入することについて考えを伺う。	
		3. 経営改善検討会議を行うことによって1、2年でどのような成果が見込まれるのかを伺う。		3. 元気で魅力ある産業と、人が集うまち	1. 観光PR事業について	1. 年間を通じた集客に向けて取り組むとあるが、季節ごとのイベントの単発的な集客と併せて、SNSだけでなく年間を通じた集客できる仕組みを作れば、より観光経済の相乗効果が見込まれると考える。滝川市は多くの文化著名人を輩出している。そこで、若年層向けに本市にゆかりのあるアニメや漫画作品をモチーフにしたまちおこしの企画も、官民連携の幅広い視点で検討してみてもどうかと考えるが、見解を伺う。	

質問順位	3	質問者	高橋 江海子 議員		
件名	項目	要 旨		メ モ	
4. 都市と農村が調和し、便利で、快適なまち	1. 新たな交流人口の拡大や創出について	1. 滝川ふれ愛の里を中心として海洋センターやスカイパークの周辺を整備・発展させることで、市政執行方針で掲げられた「新たな交流人口の拡大や創出」を目指すことにつながると考える。滝川市都市計画マスタープランの改訂を行い、これまでの施策を踏まえ情勢に合わせて当然まちづくりも変化していくものと考えているが、これまでと比べて来年度のまちづくりの方向性にどのような変化や強化があるのか、見解を伺う。			
5. 学校教育について	1. 不登校対策について	1. コロナ禍で一気にならなくなった子どもたちが増え、減ることがなくそのまま推移していることを確認した。教育行政執行方針の基本方針にある「誰もが学び続けることができる共生社会」を実現するために、メタバースを活用した支援が従来の支援方法と比べてどのような優位性を持つのか、また、現時点でどんな課題があるのかを伺う。			
		2. メタバース上での成績の評価方法や出欠席、通常の学習環境との連動性の確保はどのようにしているのかを伺う。			
		3. 各校に設けられた校内教育支援センターの運営を支援するとあるが、具体的な支援内容を伺う。			

質問順位	3	質問者	高橋 江海子 議員		
件名	項目		要旨		メモ
	2. 教職員の負担軽減について		1. 教育行政執行方針の数多くの課題の中で、教職員の働き方改革の記述の底が浅く見え、ICT活用による業務の効率化は教職員の具体的負担軽減には及んでいないのではないかと考える。国の制度改正を待つまでもなく、本市においてまだまだ実施可能な働き方改革はあるのではないかと。現状できる限りの改善策について伺う。		
			2. 教職員の負担軽減に向け、勤務実態調査を踏まえた改善を計画すべきと考えるが、本市における実施の有無と今後の方針について伺う。		
6. 社会教育について	1. 青少年の健全育成事業について		1. 子どもを狙った犯罪や闇バイトに巻き込まれないために、情報モラル教育の内容は社会情勢に合わせて日々更新していかなければならないと考えるが、今後の防止策の展開について伺う。		